



1年生になったら(4)

小学校入学後の生活① ～子どもたちにとって「おうち」の存在とは～

4月は新しい生活の始まりですね。子どもたち、特に新1年生にとって「おうち（家庭）」はどのような場所なのか、どのようにすごせるとよいのか、考えてみましょう。

「よくがんばったね」というねぎらい

たとえば“社会人になって働き始めた頃”をイメージしてみてください。規則正しい生活、新しいルール、知らない人たち、あらゆる事柄が初めてでわからないことだらけ。ピリッとした緊張感もありそうです。

子どもたちもきっと同じです。慣れない環境で一日がんばって、やっとおうちに帰ってきたら、ランドセルを放り投げて、「あ～疲れた！」「おなかすいた～」なんて声がきこえてきそうですね。まずは「一日よくがんばったね、おつかれさま」と、ねぎらってあげましょう。

やらなきゃいけないことがいっぱい！

学校から帰ってもやらなければならないことが山積み！「さっさと宿題をやりなさい」「もうすぐ〇〇の時間だよ」と、急かしてしまうこともあるかもしれません。

できれば習い事などは、様子を見て調整できるといいですね。新生活が落ち着くまで少しお休みしたり、通う回数を減らしたり。お子さんと相談しながら、無理なく続けていける工夫をしてみましょう。宿題も、はじめのうちはおとなと一緒に見てあげるなど、お子さんが自分のペースで取り組めるように寄り添ってあげてください。

こどもの話をきいてあげて

おやつやごはんを一緒に食べながら、「なにか面白いことはあった？」「給食は何を食べた？」など、1日のできごとをたずねてみるのもいいですね。「〇〇をがんばったよ」「〇〇が楽しかった」「〇〇はちょっと嫌だったな」など、いろんな話が出てくるでしょう。嬉しいことは共に喜び、嫌なことは気持ちを受けとめてあげながら、家族で会話を楽しめるといいですね。

おうちは安らげる場所

「おうちはほっとできる場所、ゆっくり休める場所」であってほしいと思います。子どもたちは学校という“外”の世界で、ちょっぴり背伸びしてがんばっています。おうちではなるべく好きなことをして過ごし、ゆっくり休んで疲れをいやしてほしいです。元気をたっぷりチャージして、次の日も生き生きとすごせますように！